

渋沢栄一記念館だより

No.3

◆渋沢栄一記念館だよりの発行について

渋沢栄一記念館は、渋沢栄一に関する資料を収集、保管及び展示し、市民の教養及び文化の振興に寄与するために設置されました。「渋沢栄一記念館だより」は、渋沢栄一顕彰の一環として当館の取組を発信するために年1回程度発行して参ります。

◆令和7年度をふりかえる

○紙幣発行1周年、深谷市誕生20周年、渋沢栄一記念館開館30周年

渋沢栄一が肖像の一万円札の発行1周年を祝い、ビアフェス～1周年をSAKE Beer Tonight(サケビタイ)～深谷城址公園を会場に開催しました。翌日は埼玉グランドホテル深谷にて「お札サミット in ふかや」も開催されました。また、当館では深谷市誕生20周年や渋沢栄一記念館開館30周年にちなみ、企画展示をはじめとして、以下のとおり各種事業を実施いたしました。

○企画展

【渋沢栄一とお金にまつわる逸話】

開催期間：令和7年6月24日(火)～10月26日(日)

新札発行1周年を記念し、渋沢栄一と「お金」にまつわるエピソードについて紹介する展示を実施しました。栄一が一橋家に仕えていた当時の財政改革のために発行に関与した「木綿預手形」や、明治25年「中の家」が火災で焼失した際に栄一らが見舞金を贈ったことが記載された「店卸損益勘定簿」、栄一が会頭をつとめた埼玉学友会や発起人代表をつとめた早稲田大学の坪内博士記念演劇博物館への寄附に関する資料、栄一が肖像の候補となったものの偽造防止の観点から髭のある伊藤博文が選定された1000円券などを紹介しました。

【収蔵品展】

開催期間：令和7年10月28日(火)～令和8年2月23日(月・祝)

テーマに沿わない等の理由でなかなか企画展では紹介することが叶わなかった資料を中心に扱うもので、今年度は、渋沢栄一銅像と渋沢敬三銅像が、青森県から前者は深谷市役所に後者は旧渋沢邸「中の家」に移設されたことを受け、市内にある渋沢栄一銅像の紹介や、当館の収蔵する資料をもとに渋沢敬三を紹介する展示を開催しました。



渋沢敬三と登喜子

【渋沢栄一と尾高惇忠】

開催期間：令和8年2月25日(水)～6月21日(日)

渋沢栄一の従兄で学問の師、義兄でもあった尾高惇忠。栄一の生涯に大きな影響を与えた惇忠を二人の関係性などに着目しつつ、収蔵資料を通して紹介するものです。パリ万博使節団の一員として渡欧した栄一がパリの様子などを惇忠に書き送った書簡や、惇忠の死を悼み栄一が記した漢詩などの資料を展示しました。



尾高惇忠ほか集合写真

○広報ふかや「青淵遺薫」連載

思わず「へーそーなん」と深谷弁で驚いてしまうような、渋沢栄一に関する小話を紹介するもので、広報ふかや令和7年2月号から令和8年3月号にかけて連載しました。

○栄一塾

連続講座を開催するとともに、バスツアーで講座関連スポットをめぐり、渋沢栄一について、さらに学びを深めることを目的として実施しました。特に第3回は、当館の30周年と渋沢栄一銅像と渋沢敬三銅像の移設を記念し、血洗島獅子舞の奉納や大抽選会を兼ねた定員200人の公開講座として実施しました。

□第1回「渋沢栄一とガス事業」(10月5日(日)開催)

…高橋 豊 先生 (GASMUSEUM 学芸員)

□第2回「造幣局の誕生と業務—渋沢栄一翁との関わり—」(10月26日(日)開催)

…小室 昇 先生 (造幣さいたま博物館解説員)

□第3回「渋沢栄一と敬三銅像移設記念講演会」(11月22日(土)開催)

「渋沢栄一から敬三へ—継承したもの・継承させたもの—」

…井上 潤 先生 (渋沢栄一記念財団業務執行理事)

「銅像の移設について」

…馬場 裕子 渋沢栄一政策推進課課長補佐

🚌バスツアー (12月19日(金)開催)

…GASMUSEUM — 造幣さいたま博物館



渋沢栄一と敬三銅像移設記念講演会



渋沢敬三銅像

○スタンプラリー

点在する渋沢栄一関連のスポットを巡ってスタンプを集めた方に記念品を進呈するスタンプラリーを、新札発行1周年や渋沢栄一月間(命日のある11月)、生誕日である2月13日にあわせて実施しました。日程は以下のとおりです。第1回は各施設で出せぼーやが持つ文字を探して謎を解く「なぞとき&スタンプラリー」を開催しました。第2回は前半に「クイズ&スタンプラリー」、後半には深谷市「論語の里」ガイドアプリの普及を目的としてデジタルスタンプラリーを実施しました。さらに、第3回は各施設のスタンプを集めると1つの絵が完成する「絵合わせスタンプラリー」を開催しました。

第1回 令和7年6月26日(木)～7月13日(日)

第2回 令和7年10月28日(火)～12月23日(火)

第3回 令和8年2月10日(火)～2月24日(火)



○旧渋沢邸「中の家」リニューアル2周年記念イベント

8月10日(日)に旧渋沢邸「中の家」のリニューアルオープン2周年を記念し、ご館印の配布や開館時間を20時まで延長しての夕涼みイベント、渋沢栄一ゆかりの地として群馬県富岡市等による物産展などを開催しました。



旧渋沢邸「中の家」リニューアル2周年記念イベント

○旧渋沢邸「中の家」どんぐり拾い体験

旧渋沢邸「中の家」の敷地内に落ちているどんぐりなど、一定量以上拾った方に「地域通貨ネギー」500negiをプレゼントするという催しです。「中の家」の秋を感じていただけるイベントとして開催しました。

○旧渋沢邸「中の家」主屋改修工事パネル展示

旧渋沢邸「中の家」主屋構造補強及び改修工事の概要をまとめた報告書が完成したことから、その内容を紹介するパネル展示を実施しています。

○尾高惇忠生家「論語」展示

渋沢栄一が7歳頃から通って「論語」をはじめとする学問を学んだ尾高惇忠生家にて、「論語」の代表的な章句を紹介する展示を行いました。

○渋沢栄一翁生誕イベント

渋沢栄一の生誕日に合わせ、深谷市イメージキャラクターふっかちゃんや東京北区スペシャルブランディングサポーターしぶさわくんを迎えて生誕セレモニーを実施しました。併せて記念ステッカーの配布や物産展を開催しました。



渋沢栄一翁生誕イベント

○英語版渋沢栄一記念館パンフレット発行

渋沢栄一の生涯を紹介する当館発行のパンフレットの英語版を作成しました。

○資料の修復

渋沢栄一と尾高惇忠の掛け軸をそれぞれ1点、渋沢栄一が尾高惇忠に宛てた書簡1点の計3点の資料を修復しました。また、桃井可堂の石膏像をもとにした銅像の鋳造を実施しました。これらの資料は、機会をみて今後の展示等で紹介して参ります。

○ボランティアの会との協働事業

「渋沢栄一翁と論語の里」ボランティアの会は、市民有志によって結成された団体です。「論語の里」エリアの活性化を目的として、市民協働の趣旨にもとづき、当館から以下の事業を委託して実施しました。

- ・尾高惇忠生家における「解説ガイド」
- ・渋沢栄一ゆかりの地をゆっくり歩いて案内する「論語の里まち歩きツアー」
- ・渋沢栄一の著書「論語と算盤」にちなみ論語に親しむ「深谷市民論語講座」
- ・旧渋沢邸「中の家」南側施設で来場者への憩いを提供する「おもてなし」

◆編集後記

渋沢栄一が肖像の一万円札発行から1周年が経過した令和7年度は、青森県から渋沢栄一とその孫敬三の銅像がそれぞれ深谷市役所と旧渋沢邸「中の家」に移設され、人物顕彰の新たなスポットが誕生しました。また、紙幣が発行となった7月3日は、「深谷市民の日」となりました。そこで、令和8年度は、この「深谷市民の日」に様々なイベントを開催する予定です。

当館としましても、一万札の発行から続く盛り上がりを一過性のものとしないう、企画展や栄一塾、スタンプラリーなどの事業を時宜に合わせたものにブラッシュアップしながら開催して参りますので、引き続き渋沢栄一顕彰へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

発行：令和8年3月31日 深谷市渋沢栄一記念館

〒366-0002 埼玉県深谷市下手計1204番地 TEL：048-587-1100 FAX：048-598-4331

HP：「渋沢栄一デジタルミュージアム」https://www.city.fukaya.saitama.jp/shibusawa_eiichi/index.html

公式インスタグラム：eiichi0213_official 更新中！